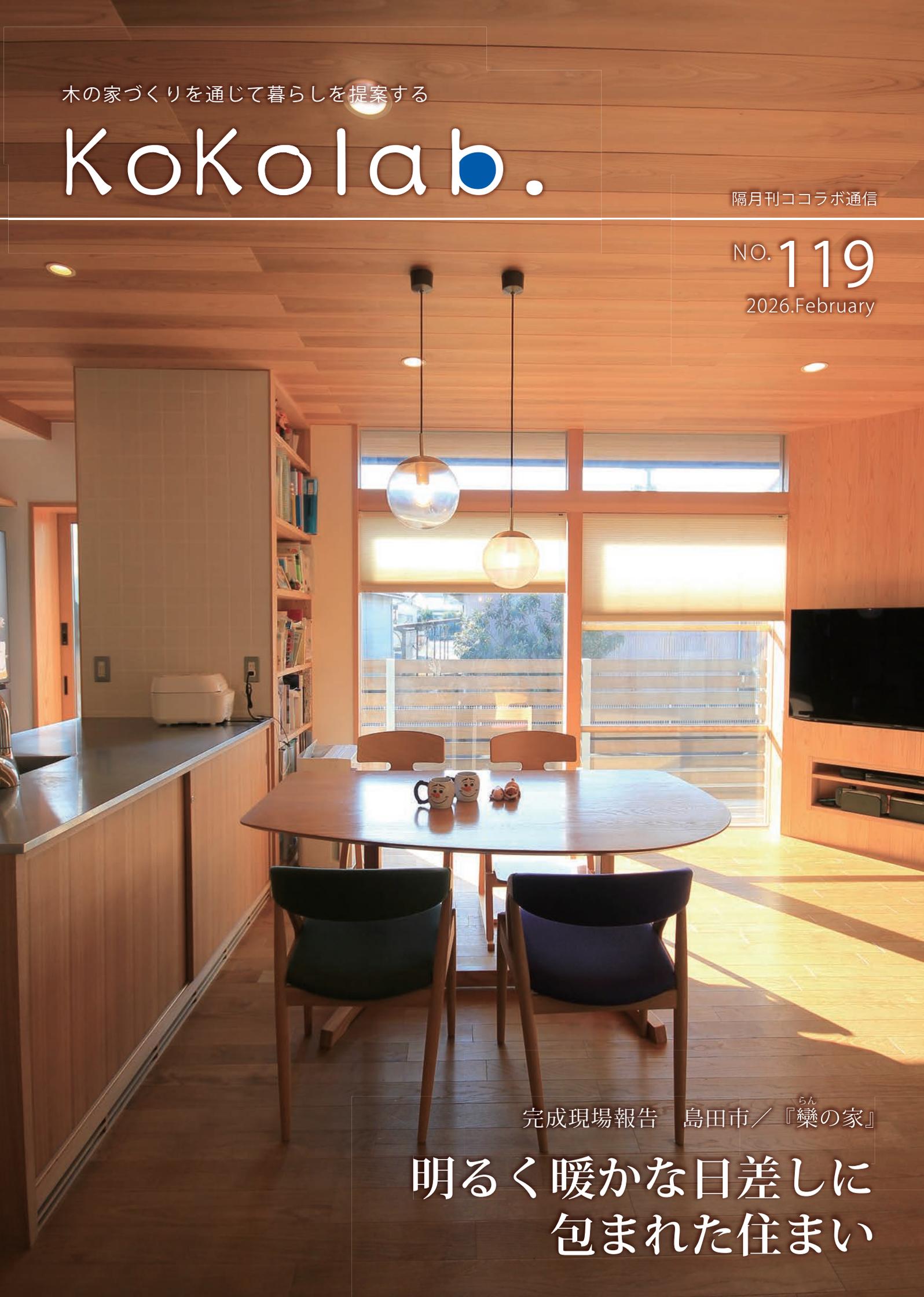


木の家づくりを通じて暮らしを提案する

KoKola**b**.

隔月刊ココラボ通信

NO. 119
2026.February



完成現場報告 島田市 / 『^{らん}樂の家』

明るく暖かな日差しに 包まれた住まい



北側道路から外観を見る。今回初めてネイビーのガルバリウム鋼板の外壁を採用した。定番のブラックやブラックパールなどに比べて明るい印象で、玄関まわりに貼った杉板の外壁との切り替えがとても新鮮。毎日の動線を考えて、玄関ポーチや自転車置き場に少しゆとりを持たせたプランとなっている。

時には職人にも参加してもらい、仕事の中で大事にしている事や、現場でのリアルな話などをしてもらいました。番組は半年で終了する予定でしたが、その後もまた半年続く事になり、事前収録して時間も前より長めに行う事になりました。番組内容も少し変わり、これから家づくりを行う方の参考になればという事で、初めて展示場を見学するところから、だんだんと家づくりをしていくという設定で番組をつくっていききました。その中ではNさんもお客さんという設定で出演したり、実際の建築途中の現場に行つて、Nさんとパーソナリティーが職人を直撃レポートしたりしました。楽しい1年間のラジオ出演で、私もとても良い経験をさせていただきました。ラジオ番組が終わり数年経過した頃、Nさんから連絡をいただき、今度は実際に自分たちの家づくりをしたいとお話をいただきました。ラジオ収録を通して木の家の話や実際の職人たちとも会って、自分たちの家をつくるなら、絶対にコロラボさんをお願いしたいと思っていただけてくれました。ご主人も奥さんから木の家の話をたっぷり聞き、実際に展示場や完成した木の家をご覧になって、やっぱり木の家がいいねと賛成してくれました。ラジオ番組がきっかけの少し変わった出会いでしたが、今度はリアルな家づくりを行うために、様々な打ち合わせを重ねていきます。

明るく暖かな日差しに包まれた住まい

完成現場報告

島田市『樂の家』

文・写真／コロラボ 山崎健治

ダイニングよりキッチンを見る。コロラボ定番の木の空間に、Nさんの選んだペンダント照明やダイニングテーブルチェアがマッチしている。直線的な建築に、球体や楕円などの曲線を使ったインテリアが加わる事で、柔らかく優しい雰囲気の空間になっている。



『樂の家』と題したNさんご家族の住まいは、一昨年の春に完成しました。タイトルにつけた『樂』は団樂のらん。この木の家で、いつまでも家族が仲良く暮らしていただきたいと思いを込めました。Nさんとの出会いは5年以上前だったと思います。出会いたいと言っても家づくりがきっかけではなく、実はラジオ番組に出てみませんか？というお誘いのお話でNさんの奥さんと初めてお会いしました。当初奥さんは、地元のラジオ番組製作の仕事をされていて、地域のいろいろな企業を担当していました。ちょうどその頃、当社で設計監理させていただいた「たけのこ保育園」が完成し、地元の木材をふんだんに使った保育園ということになり、ラジオ番組に出演させていただくことになりました。番組は毎週生放送で行われ、半年間担当することになりました。当初は何を話したら良いのかとても不安でしたが、パーソナリティーの方が上手に話しかけてくれ、私も楽しい時間を過ごすことが出来ました。番組の内容は、木の家の特徴や良さについて話す事が主でしたが、



畳コーナーより広間を見る。畳コーナーは広間空間と少し印象を変え、屋根形状を利用した勾配天井や、和紙を貼った壁で仕上げられている。モダンな空間の中に畳や障子などの和の素材が入り、優しい雰囲気の一部に仕上がっている。

広間はダイニングテーブルを中心として配置し、斜め壁を利用して壁掛けテレビを設置した。テレビの下には三角形の空間を利用して周辺機器の収納スペースを確保し、スッキリとした印象の空間となった。



小上がりの畳コーナーとの仕切りに鉄紺の襖建具を選んだ。畳コーナーは現在家族の寝室として使っているため、襖を使って光の調整などが出来て重宝していると話されていた。



土地探しからの家づくり

家づくりは土地探しからスタートしました。お子さんの学区の関係もあり、住んでいる地域を中心に選んでいきました。最終的に選んだのは、元々駐車場として使われていた土地で、広さや形状、学校との距離や金額など、様々な要件から検討し、広さも形状もよく、日当たりも良さそうという事で購入を決定しました。近年はNさんのように工務店や設計事務所と一緒に土地探しから家づくりを始める方が増えています。自分たちだけで土地選びをするのは難しく、土地情報を集める事や、気に入った土地が見つかった後もその後どうしたら良いのか？日当たりや形状が良さそうでも、自分たちが望む住まいが出来るのか？法律や税金、地盤の良し悪しなど、気を付けるポイントがたくさんあり、失敗するわけにはいきません。私たち設計事務所も土地探しからサポートする事で問題点を早めに見つける事が出来、適切なアドバイスができると考えています。土地購入の際は融資とも大きな関係があります。土地と建物を含めた資金計画や事前審査など、土地と建物は一体として考えていかないと、いろいろな面でスムーズにいかない事が多いのが現実です。Nさんとの家づくりにおいても土地購入の前から計画を行い、プランや資金計画を事前に行いながら進めていく事が出来ま

した。土地を購入後は、しばらく設計打合せに集中です。窓や建具、ガラスの種類、家具の細部や電気配線などの打合せに半年程度の時間をかけました。打合せの中でダイニングのペンダントライトのお話になり、私のオススメブランドを幾つかご紹介しました。家のポイントとなるペンダントライトなので、実物を見て決めたいということになり、奈良県にあるNEW LIGHT POTTERY（ニューライトポタリー）さんのショールームにプチ旅行を兼ねて見に行かれました。ショールームには様々なライトが展示され、見学とお話に夢中になり、結局奈良の観光地を回ることもなくずっとショールームに居たと聞きました。選んだのは『Solaris/200・250』で、クリアと乳白色の2灯を高さ違いに設置することにしました。照明器具の他にもいろいろな素材や色、収納内部の棚の大きさや高さなどを決め、楽しくも忙しい打ち合わせが終了し、完成に向けて工事がスタートしました。工事期間中も月に一度は現場で打ち合わせを行い、現場の様子を見ていただきながら各部の確認を行い、発注前の最終確認、塗装や襖の色、外構の確認などを行いました。設計や現場での打ち合わせは時間もかかり大変だと思いますが、じつくりと打合せを行うことで後悔のない家づくりができると思います。Nさんも毎回熱心に参加してくれ、充実した打ち合わせができたと思います。



外観 ネイビーのガルバリウム鋼板が印象的な外観。建物は南に面して横長の間取りで、どの部屋も日当たりが良く、室内はポカポカと暖かい。

階段 一部にアイアンを使用した階段。段板下の空間はお掃除ロボットのスペースになっている。近年は様々な家電も増え、打ち合わせの段階で詳細に聞き取りを行っている。



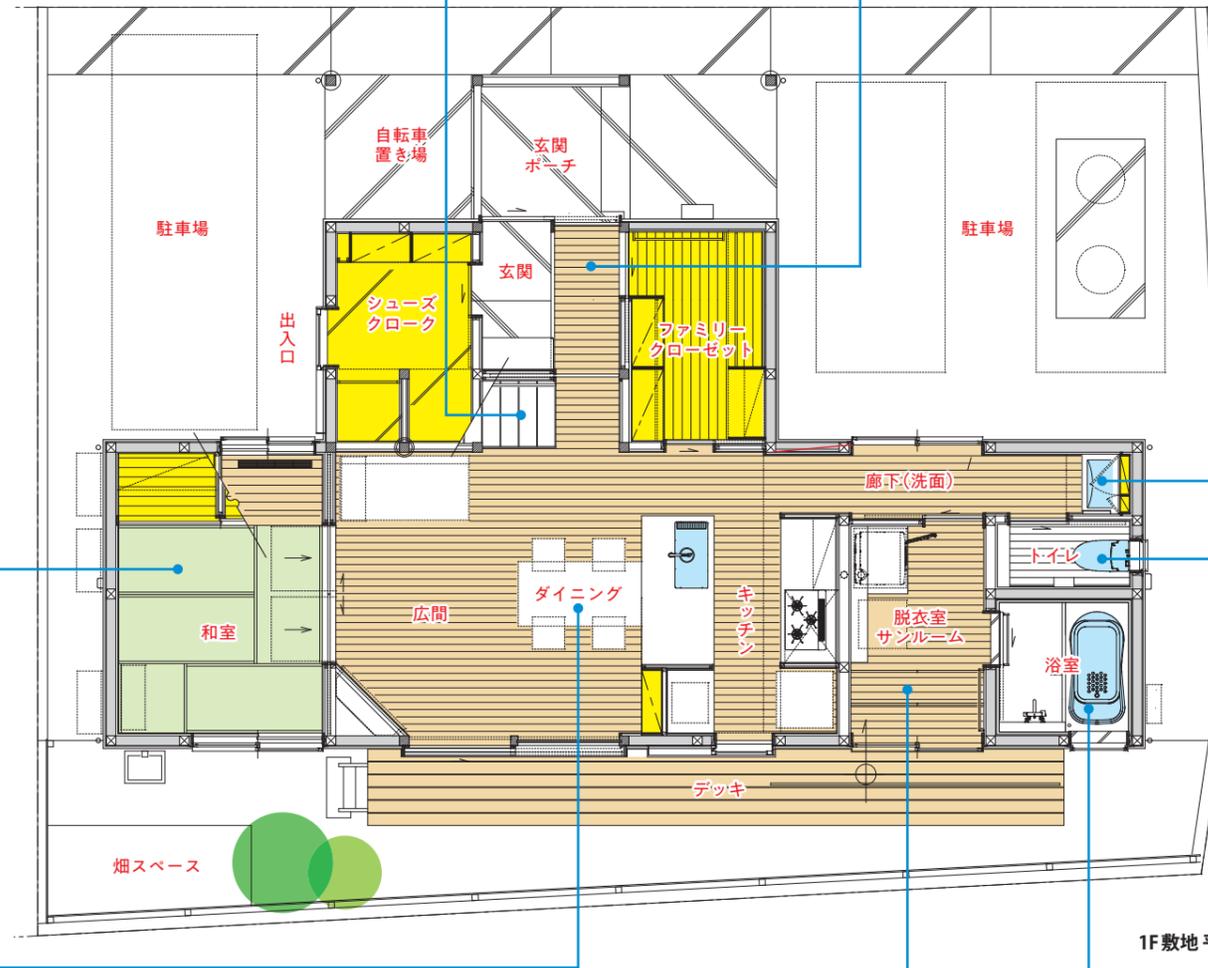
玄関 木と漆喰で仕上げた清々しい内装の玄関。玄関はベンチだけを置いたスッキリとした空間とし、引き戸を介して外部ともつながるシューズクロークを配置した。



畳コーナーと広間 毎日のほとんどの時間をこの二つの空間で過ごすことができ、生活の中心となっている。どちらの部屋も南に面し、暖かく明るい光に包まれ、心地よい空間になっている。



畳コーナー 壁と建具はどちらも和紙で仕上げている。ココラボで使用する和紙は、越前和紙でつくられた“玉紙”が多く、和紙ならではの風合いを楽しみつつ、撥水コーティングされた優れたもの。色や織り柄などで様々なラインナップがある。



ダイニング Nさんの家のアイコンにもなっている2灯のペンダントライトは、奈良のNEW LIGHT POTTERYさんのショールームに行き、実物を見て選んだこだわりのライト。クリアと乳白ガラスの組み合わせがとてもいい感じ。



脱衣室兼サンルーム 1坪半の空間に洗濯機とガス乾燥機を配置し、窓付近をサンルームとして利用している。窓の外にはウッドデッキの物干しスペースもあり、洗濯が一つの場所で完結する便利な空間となった。

浴室 ハーフユニットバスと青森ヒバを組み合わせたココラボ定番の木の浴室。南に面していることもあり、明るい印象の浴室で、お兄ちゃんのお気に入りの場所だと聞いた。



トイレ スッキリとした印象の空間の中に、少し丸みを帯びたトイレが可愛い。ペーパーホルダー上のカウンターはタモの木で製作した。



洗面化粧台 水廻りの一角に設けた洗面化粧台。コンパクトなスペースではあるが、引き出し収納や鏡収納などを設け、使いやすい洗面台となっている。

NEW LIGHT POTTERY(ニューライトポタリー)

奈良に拠点を置く照明ブランド。『こころばの家@静岡』の玄関ペンダントとしても採用しているブランドで、ガラスや金属、木や石など、本物の素材を使ったデザインが特徴。シェードや器具だけでなく、電球やカバーなどもオリジナルで開発し、独自の世界観をつくらせている注目のブランド。



Atelier Key-men(アトリエキーメン)

滋賀県近江八幡市にショールームを構え、オリジナルの照明器具を販売しているブランド。デザインも素材もオリジナリティーのある照明器具で、インパクトのある空間をつくらせる。デザインだけでなく機能も優れ、特にエクステリア照明のセンサーなどにも細かく対応している点があるがたい。



木の家に似合う 国産照明ブランドの紹介

家づくりの楽しみの一つが照明選びではないでしょうか？ ひと昔前は、メーカーのカタログから選んでいたと思いますが、近年は様々なブランドがあり、選ぶ楽しみが増えています。海外ブランドの魅力もありますが、年々、手の届きにくい価格になってしまったものも多くあります。その中で注目なのが国産の照明ブランドで、様々な視点で独自のデザインをつくり上げ、魅力的な照明器具をつくっています。今回は、当社でも何度か採用させていただいた、3つのブランドを紹介させていただきます。

flame(フレイム)

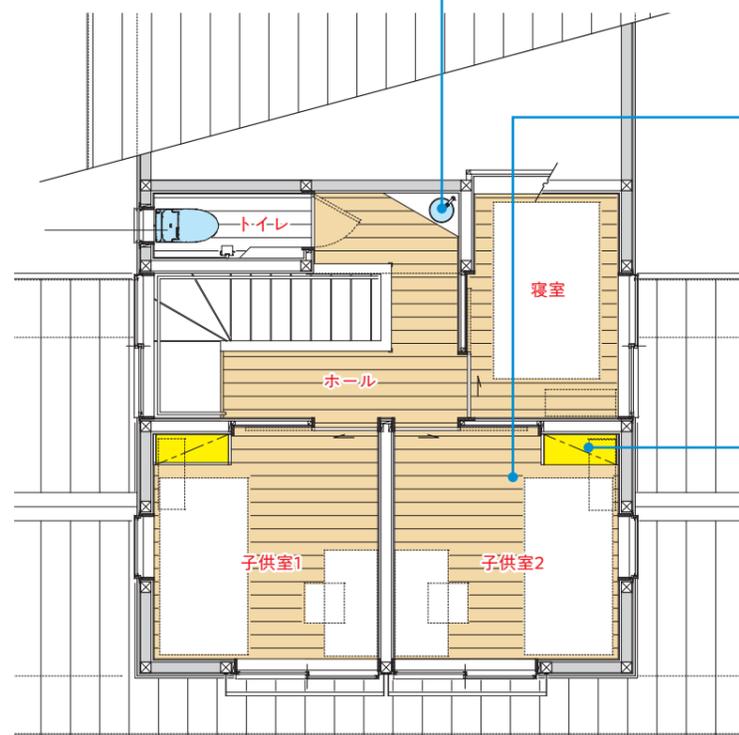
兵庫県芦屋市にて照明器具の企画・製造、販売を行っているブランド。どこか懐かしい雰囲気のある照明器具で、シンプルなデザインの中に惹きつける魅力を感じるブランド。様々な素材を使ったペンダント照明があるが、hangerと呼ばれるアームを組み合わせたデザインが特徴的で、当社でも吹き抜けのペンダントライトとして何軒かのお宅で採用している。



手洗いコーナー コーナーを利用して製作した手洗いカウンター。カウンターに手洗いボウルを乗せたシンプルなデザインとし、2階での手洗いやお掃除などで活用している。



子供室 将来を見据えて設けた子供室は、今はぬいぐるみたちのお部屋になっているけど、もう少し大きくなったらどんなお部屋になるのか？



2F 平面図



本棚+洋服掛け 本棚と洋服掛けを兼ねた収納家具を製作した。今はぬいぐるみたちの隠れ場所になっているけど、大きくなったら本を置いたり制服を掛けて使ってね。

仕様内容

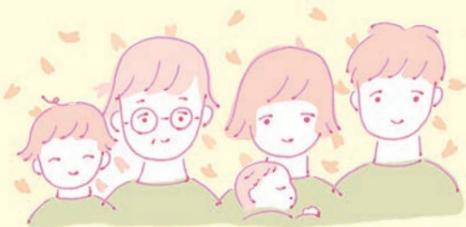
家族構成	家族4人
敷地面積	163.58㎡
建築面積	71.21㎡
延べ床面積	91.09㎡
構造	在来構造
屋根	ガルバリウム鋼板縦ハセ葺き
外壁	杉赤身板縦貼り・ガルバリウム鋼板角波タテ貼
外部建具	木製オリジナル建具 桧(ペアガラス) 樹脂複合アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉本実張り 厚12mm 青森ヒバPJ本実板張り 厚15mm HB桧合板貼り
壁	漆喰塗、青森ヒバPJ本実板張り、HB桧合板貼り
床	栗本実板 厚15mm、青森ヒバPJ本実板 厚15mm 杉本実板 厚15mm
内部建具	木製オリジナル建具
キッチン	ステンレスヘアライン天板 オリジナルキッチン
洗面化粧台	オリジナル洗面化粧台
浴室	オリジナル浴室 (壁・天井：青森ヒバPJ、床：サーモタイル)
竣工	令和6年5月

ら差し込む光や障子越しの柔らかい光、影や光の線もアトに感じられ、時間が変わっていく様子は1日を通して豊かな気持ちにしてくれそうです。撮影した日も部屋の中はいつもポカポカで、太陽の恵を生かした住まいだと感じました。 Nさんのお宅が完成して1年半程経過しました。まだまだ新築の雰囲気も残りますが、杉の天井板や栗の床板はだんだんと落ち着いてきた雰囲気になってきました。お子さんも元気に小学校に通い、スポーツや勉強に励み、生活も少しずつ変わっている事を実感しました。お子さんとの暮らしは長いようで短く、賑やかな毎日が宝物になると思います。これからも家族の団欒を大切にしたい、今後も木の家暮らしを楽しんでいただきたいと思います。

どの部屋も 日当たり最高の住まい。 Nさんのお宅の大きな特徴は、南面にほとんどの部屋が並んだプランです。キッチンやダイニング、和室をはじめ、浴室や脱衣室も南に面して配置されています。どの部屋も日当たりが良く、明るさや暖かさと共に洗濯などの家事においてもストレスの少ないプランになりました。これらのプランを可能にしたのは土地形状のおかげで、東西に長い長方形の形状と、敷地の南面に近くのアパートの駐車場がある事が利点になりました。駐車場は細長く、家が建つ心配は少なそうな形状で、今後も日当りは期待できそうです。最近の住宅では、窓が少なく、窓の大きさも小さな家が増えてきたように思います。これは、断熱性能を重視するあまり窓の大きさを欠点として捉え、極力窓面積を小さく設計している事にあると思います。敷地形状や地域の特性として必要な事もあるかもしれませんが、断熱性能の数字だけにこだわった住まいが快適だとは思えません。窓は欠点ではなくむしろ利点が多く、冬の暖かな日差しや部屋の明るさの確保、殺菌効果や水廻りなどの乾燥も期待できます。何より、明るく暖かい部屋である事が気分を上げ、1日の活力にもなります。Nさんのお宅に伺った日も窓から日差しがたくさん入っていました。窓から差し込む光や障子越しの柔らかい光、影や光の線もアトに感じられ、時間が変わっていく様子は1日を通して豊かな気持ちにしてくれそうです。撮影した日も部屋の中はいつもポカポカで、太陽の恵を生かした住まいだと感じました。

HAIR の mur! mur!

そねりさの髪と暮らしとおしゃれの塩梅 vol.09



くせっ毛の術 その3 そのまま生かす

くせっ毛の術その3、最後は、あなたのオンリーワンのくせ、そのものを生かすことです。

くせっ毛の多くの方々は、思春期で縮毛矯正に感動し、ちょっと飽きてきた頃にパーマで遊び、歳を重ねるごとに白髪や抜け毛、ハリコシの弱っていき髪のエイジングで悩み始めることが多いと思います。

髪だけじゃなく、メイク、ファッション、生活スタイル全てが年齢と共に変化していくことはとても自然なことです。

その変化の中で、くせっ毛を生かしていくコツを3つ紹介したいと思います。

① 『毎日シャンプーしない』 毎日のシャンプーは自分の持っている水の

縮毛やパーマをかけていた方がすぐにくせを生かせる髪型が見つかること、今までずっとコンプレックスに思っていたくせっ毛を好きになることは長い道のりかもしれませんが、それでも自分しか持っていないくせっ毛はきっと自分しか似合いません。くせっ毛で悩むみなさんの選択肢が増え、新しい自分を見つける楽しさに繋がると嬉しいですよ。

分や油を常にリセットしてしまいがちです。頭皮や髪の元々持っている潤いが追いつきません。冬場は特に洗いで乾燥するとフケや頭皮のベタつきにもつながりますので2、3日に1回のシャンプーで十分です。

② 『朝しっかりと髪を濡らす』 朝の洗顔と一緒に髪もしっかり濡らして、オイルやバームをつけて、自然乾燥やドライヤーをする。くせはパーマの原理と一緒です。しっかりと濡らすことで、カールを生かしてスタイリングすることができます。

③ 『美容師さんを変えてみる』 長年の付き合いや時間がないから近くで済ませたいなど様々な理由があると思いますが、美容師によって、得意不得意や好みがあります。もし、担当している方が変化に消極的なら、ちょっと勇気を出して変えてみることで思いがけない自分の髪が見つかるかもしれません。

縮毛やパーマをかけていた方がすぐにくせを生かせる髪型が見つかること、今までずっとコンプレックスに思っていたくせっ毛を好きになることは長い道のりかもしれませんが、それでも自分しか持っていないくせっ毛はきっと自分しか似合いません。くせっ毛で悩むみなさんの選択肢が増え、新しい自分を見つける楽しさに繋がると嬉しいですよ。

髪の手入れ —ヘアオイル—



サロンで使用するヘアオイルはキャリアオイルと呼ばれるホホバオイルやセサミオイルをブレンドして、好きな精油を数滴混ぜながら作る自家製ヘアオイルです。梅雨や夏の湿気が広がる時や冬の乾燥による静電気でフワッとする髪にもほどよく、まとまり、ツヤが増します。ほのかに香る精油の香りが髪だけでなく、心の安定にも寄り添ってくれます。

ハーブの手入れ —ツバキ—



椿油は平安初期には食用、灯油、化粧用として使用され、不老長寿の薬として、強い生命力で自生し続けてきた日本古来の歴史があります。椿の島とも呼ばれる五島列島が日本一の自生の産地。西洋では富や豪華をもたらしてくれるという豊かさの象徴のような植物。花、種、葉、果皮全て使用でき、食、肌はもちろんのこと黒髪の艶出しにも椿油がピッタリです。

髪と暮らしのいい塩梅をみつける美容室 mur mur design

[OPEN] 9:00~18:00(ご予約優先)
日曜日定休

[SNS] Instagram : @murmurdesign_risasono



LINE ID : https://lin.ee/cGF3eqj
★ご予約・お問い合わせはLINEにて



アンジュールマルシェ



アンジュールマルシェは静岡市葵区茶町にある、暮らしに寄り添う商品を集めたお店です。国内外の素材にこだわった食品、家族や気の置けない仲間との食事におすすめのナチュラルワインや日本酒、環境に配慮したシャンプーなどの洗浄剤や暮らしのエッセンスとなるナチュラルフレグランス、着心地の良い洋服などが並びます。いつもの毎日をちょっと豊かに、日々が楽しくなるようなアイテムをセレクトしています。

[住 所] 静岡市葵区茶町1-27-2
[TEL] 054-255-6007
[OPEN] 11:00~18:00
金土11:00~11:30/日9:00~17:00
[定休日] 火曜日・第三月曜日

[SNS] Instagram: @kocuu13
[URL] https://kocuu.com/



マスキングテープ 専門店 ヨハク社



マスキングテープの専門店・ヨハク社です。スーパーマーケットをリノベーションした全国最大級の超マステ空間をお楽しみください。店内には、1万点を超えるマスキングテープや今流行のシール、レトロな紙モノなど乙女心をくすぐるアイテムがいっぱい!デザイナーさんとのコラボ展示や、現代アートの展示、マルシェなど広さを生かして様々な展開をしています。平成を愛でるイベント"DOPE"も主催しています。

[住 所] 島田市稲荷2-8-8
[TEL] なし
[OPEN] インスタグラムをご確認ください
[定休日] 不定休(Instagramをご確認ください)

[SNS] Instagram: @yohaku_sha



「ココラボ設置店」より…



「KoKolab」Facebookページ



Instagram @kokolab.ie



発行人 有限会社こころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1370-4

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集… Branch 村上幸枝

印刷所… 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、
E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造り
を行っている設計事務所です。隔月刊の『ココラボ通
信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住
宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

新年が明けたと思ったらあっという間に1月末。お正
月の記憶が遠く感じられます。今年は変化の年と言わ
れ、物価高や世界情勢、家づくりにおいても様々な部
分で変化を感じています。変化に対してじっと耐えて
いく事も必要ですが、変化をチャンスと捉え、自らも
変わっていく事も必要だと感じています。昨年から取
り組んでいる新しい事業についても今年はスタート
していきたいと思っています。詳しい内容については改め
てお伝えしますが、家づくりをもっと広い視野で捉え、
“住まいの継承”をテーマとして取り組んでいきたい
と思います。住まいをつくる事は暮らしをつくる事。
たくさんの人に豊かで幸せな暮らしを提供できる企
業に成長していきたいと思っています。(山崎健治)

こころばの家
@静岡(地図)



『こころばの家@静岡』

静岡市駿河区新川2丁目5-29

電話 : 054-270-7658

こころばの家
@島田(地図)



『こころばの家@島田』

島田市東町1370-4

電話 : 0547-54-4556

🏠 静岡市『いろはの家』建築途中見学会を開催します。

静岡市清水区の閑静な住宅地に建築しているIさんの家は、夫婦+お
子さん3人の5人家族の住まいです。奥様の夢である土間のサロンを設
け、薪ストーブや吹き抜け、スキップフロアのスタディースペースなど、
家族の夢をぎゅっと詰め込んだお宅になりそうです。夏の完成を予定
していますが、今回は木組みの構造体や木の家の仕組みなどを見てい
ただく見学会を開催したいと思います。

- ◆ 日時 : 2026年3月下旬(土・日) 10:00~17:00(予約制)
- ◆ 場所 : 静岡市



🏠 菊川市『ほろの家』建築途中見学会を開催します。

菊川市の少し小高い場所に建築中のMさんのお宅は、大きな片流れの
屋根の中に家族の気配が感じられる立体的な空間をつくりました。み
んなの集まる広間には、小下がりの畳コーナーやL型のソファコー
ナー、薪ストーブなどのスペースを設け、同じ空間の中でもそれぞれの
居場所のあるプランを提案しました。建築途中見学会では、天然乾
燥材の構造体や、大工の手仕事も合わせてご覧いただきたいと思いま
す。

- ◆ 日時 : 2026年3月下旬(土・日) 10:00~17:00(予約制)
- ◆ 場所 : 菊川市



※見学会の詳細情報はSNS・LINEでお知らせします。

木の家相談会 & 『こころばの家』オープン日

毎月 第1土・日開催

当社では、毎月第1土曜・日曜に、「木の家相談会」と「木の家常設展示場見学会」を行っています。現
場見学会などで実際の建物を見ることは出来ませんが、生活をイメージしたり、ゆっくりと座って話を
聞くことはなかなか難しいものです。家づくりが具体的で無い方も、またリフォームを検討している
方も、まずは一歩踏み出して、実際の木の家に触れたり話を聞いてみてはいかがでしょうか？ きっと今後
につながるヒントが見つかると思います。

◆ 木の家相談会

家づくりは何から始めたらいいの？ と相談される方が多くい
ますが、家族構成や敷地条件などによって様々な入り口があり
ます。また私たちが行っている木の家は、木材をはじめとした
自然素材の使い方によっても建物の性能や雰囲気が変わって
いきます。木の家相談会では、経験豊富な建築士が個別相談を
行い、一人一人に合った、様々な問題について相談を受け付け
ています。家づくりは一歩踏み出すことから始まります。この
相談会を利用して気軽に何でもお訪ね下さい。

◆ 木の家常設展示場オープン日

『こころばの家』見学

2つの『こころばの家』は、同じ木の家ではありますが、それぞ
れ違ったテーマでつくられています。敷地環境や家族構成、空
間のつくり方や素材の選択など、自分たちに合った暮らしを探
す中で参考になればと思います。毎月第1土曜、日曜をオー
プン日とし、展示場を見学していただく事が出来ます。ホームペ
ージ内の申し込みフォーム、またはお電話でご予約下さい。

- ◆ 日時 : 3月14・15日(土・日)
4月4・5日(土・日)
10:00~17:00(予約制)

- ◆ 場所 : 『こころばの家@静岡』
静岡市駿河区新川2丁目5-29 電話 : 054-270-7658
- 『こころばの家@島田』
島田市東町1370-4 電話 : 0547-54-4556



こころばの家@静岡



こころばの家@島田